高等学校 英語科学習指導案

1. 日 時 令和4年〇月〇日 (〇)

2. 学年・組 第2学年〇組

3. 単元(題材)名 Lesson 8 An Industrial Revolution in the Sky
使用図書は、教科書：New Discovery English Communication II

4. 単元(題材)の目標

- ・日常生活に深く関わりつつあるドローンの活用事例や、その利点と問題点を理解することができる。
- ・ドローンが日常生活に与えている影響について、自身の意見を英語で表現することができる。
- ・ドローンの利便性や危険性について、論理的に英語で発表することができる。

5. 教材

- ・(帯学習①) Reading Gym 英語速読テスト 標準偏
- ・(帯学習②) 英単語 TARGET 1900 6訂版
- ・(帯学習③) 英会話用プリント
- ・教科書：New Discovery English Communication II (Lesson 8 An Industrial Revolution in the Sky)
- ・本文プリント(教科書本文、New Words、Q&A、TF、Grammar Point)
- ・サイトトランスレーションシート(左右それぞれ日本語と英語でチャンクごとに区切られている)
- ・ライティング用プリント(自身の意見を英語でまとめる。意見交流の時にも使用)

6. 教材観

本単元では、日常生活に急速に普及しているドローンの活用事例について学ぶことができる。最近ではメディアやニュースでその使用例が取り上げられることも多く、生徒にとっては馴染みのあるテーマであると考えられる。本時で扱う最終パートではドローンの利便性だけでなく危険性についても言及されているが、学習した内容だけではなく、自分の考えや意見を論理的に英語で表現する場面を設定したい。

7. 生徒観

略

8. 指導観

- ・本文の概要を自ら読み取ることができるようになるために、大問ごとにペアワークで読解に取り組むことで、英語に苦手意識を持っている生徒が学習に取り組めるように工夫する。
- ・教科書の内容理解やスピーキング能力向上のために、多様な音読活動を実施する。
- ・論理的かつ端的に意見交流することができるようになるために、意見交流の前に自身の意見をプリントに整理する時間を適切に設定する。
- ・相手が納得するような意見を述べるために、「譲歩」「逆説」「主張」の流れを意識した論理展開のモデル文を示し、必要な支援を行う。

9. 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【読むこと】 ドローンに関する英文を読み、その内容を理解する技能を身に付けている。	【読むこと】 ドローンに関する英文を読み、その利便性や危険性について、内容の概要を捉えている。 【書くこと】 ドローンの活用の賛否について、教科書で学習した表現等を用いてまとめることができる。	【読むこと】 ドローンに関する英文を読み、その利便性や危険性について、内容の概要を捉えようとしている。 【話すこと（発表）】 ドローンの活用の賛否について、教科書で学習した表現等を用いて英語で発表しようとしている。

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全9時間）

時	学習内容	主な評価規準【観点】 評価方法等
第1時	■現代におけるドローンの主な役割を理解する。(Lesson 8 part 1) (帯学習) あるトピックにおける英文を読み、概要を捉える。(Reading Gym) ①内容に関する英文を読み、各設問に適切に解答する。 ②本文の内容について、ペアで話し合うことで理解を深める。 ③各設問の解説をとおして、本文の概要を理解する。	本文の内容を理解し、概要を相手に伝えることができる。【主】
第2時	■現代におけるドローンの主な役割を表現する。(Lesson 8 part 1) (帯学習) 指定された範囲から出題される英単語を理解している。(TARGET 1900) (帯学習) 身近な話題についてペアで1分間のスマールトークをする。 サイトトランスレーションシートを用いて、本文の音読を行う。	様々な音読活動に主体的に取り組んでいる。【主】 テストで出題される英単語の意味を理解しようとしている。【主】
第3時	■災害やスポーツにおけるドローンの役割を理解する。(Lesson 8 part 2) (帯学習) 身近な話題についてペアで1分間のスマールトークをする。 ①内容に関する英文を読み、各設問に適切に解答する。 ②本文の内容について、ペアで話し合うことで理解を深める。 ③各設問の解説をとおして、本文の概要を理解する。	本文の内容を理解し、概要を相手に伝えることができる。【主】
第4時	■災害やスポーツにおけるドローンの役割を表現する。(Lesson 8 part 2) (帯学習) あるトピックにおける英文を読み、概要を捉える。(Reading Gym) (帯学習) 身近な話題についてペアで1分間のスマールトークをする。 サイトトランスレーションシートを用いて、本文の音読を行う。	様々な音読活動に主体的に取り組んでいる。【主】
第5時	■農業や配達におけるドローンの役割を理解する。(Lesson 8 part 3) (帯学習) 指定された範囲から出題される英単語を理解している。(TARGET 1900) ①内容に関する英文を読み、各設問に適切に解答する。 ②本文の内容について、ペアで話し合うことで理解を深める。 ③各設問の解説をとおして、本文の概要を理解する。	本文の内容を理解し、概要を相手に伝えることができる。【主】 テストで出題される英単語の意味を理解しようとしている。【主】
第6時	■農業や配達におけるドローンの役割を表現する。(Lesson 8 part 3) (帯学習) 身近な話題についてペアで1分間のスマールトークをする。 ①サイトトランスレーションシートを用いて、本文の音読を行う。 ②ライティング “Do you think drones are convenient in our life?” 立場は Yes 固定 ③ ②についてペアで意見交流を行う (ペアは数回入れ替える)。	様々な音読活動に主体的に取り組んでいる。【主】 ドローンの活用について、意見を英語でまとめることができる【思】
第7時	■ドローンの普及とその危険性を理解する。(Lesson 8 part 4) (帯学習) あるトピックにおける英文を読み、概要を捉える。(Reading Gym) ①内容に関する英文を読み、各設問に適切に解答する。 ②本文の内容について、ペアで話し合うことで理解を深める。 ③各設問の解説をとおして、本文の概要を理解する。	本文の内容を理解し、概要を相手に伝えることができる。【主】
第8時 (本時)	■ドローンの普及とその危険性を表現する。(Lesson 8 part 4) (帯学習) 身近な話題についてペアで1分間のスマールトークをする。 ①サイトトランスレーションシートを用いて、本文の音読を行う。 ②ライティング “Do you think more people should use drones in our life?” ③ ②についてペアで意見交流を行う (ペアは数回入れ替える)。	様々な音読活動に主体的に取り組んでいる。【主】
第9時	■Lesson 8 (復習) ①前時の意見交流をグループや全体で共有し、後にスピーチとして Chromebook で動画を撮影したものと原稿を Google Classroom で提出する。 ②音読で今までの本文を振り返りながら復習する。	ドローンの活用について、意見を英語でまとめることができる【思】 原稿をあまり見ずに自分の意見を伝えようとしている。【主】
後日	ペーパーテスト (考査) 【読むこと】	本文の内容や、本文で使われている表現を理解している。【知】【思】

* 「主体的に学習に取り組む態度」の観点における総括的評価は、ペーパーテストの振り返り等において行う。

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ペアで、あるトピックについて、英語で会話を1分間続ける。
- ・ドローンに関する英文を音読し、その内容について理解を深める。
- ・ドローンの利便性や危険性について「譲歩」「逆説」「主張」の流れで自身の意見をまとめ、その内容について他者と英語で交流することができる。

(2) 本時の評価規準

【書くこと】※第9時に原稿を提出

ドローンの利便性や危険性について、教科書やプリントを参考にして英語でまとめることができる。

【話すこと（発表）】※第9時に撮影動画を Google Classroom で提出

ドローンの利便性や危険性について、英語で発表しようとしている。

(3) 本時の準備物

（帯学習）英会話用プリント

- ・サイトトランスレーションシート（左右それぞれ日本語と英語でチャンクごとに区切られている。また、裏面には、表面と同じ英文が載っているが、いくつかの単語が空欄になっている。）
- ・ライティング用プリント（自身の意見を英語でまとめる。意見交流の時にも使用）

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
帯学習 7分	以下のトピックについて、ペアで1分間、英語で会話する。ペアを変更して同じトピックで3セット実施。 【Today's topic】 What do you want to do this weekend?	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回ペアを変えることで、生徒が意欲的に活動することができるようにする。 ・何度も同じトピックを繰り返すことで、自然と英語表現が身につく、英語で話すことにも自信を持てるようになる。 	与えられた話題について、1分間主体的に英語でやり取りしようとしている。【主】
導入 2分	前回までの内容確認	“Do you think drones are convenient in our life?” 第6時で用いた発問から前回までの内容を確認する。	
展開 40分	<p>【音読活動】（20分）</p> <p>(1) Repeating 授業者がチャンクごとの区切りで読んだ英文に続いて音読を行う。</p> <p>(2) Buzz Reading 起立して本文を2回読む。読み終わったら着席するが、次の指示があるまで何度も音読を繰り返す。</p> <p>(3) Pair Reading ペアでジャンケンを行い、勝った生徒はチャンクごとに日本語を読み、負けた生徒はペアの日本語を英語に通訳し音読する。なお、本文中のThus,で役割を交代する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業者が英文の発音を含め読み方を示すことで後の音読活動をスムーズに行うことができるようにする。 ・読み終わった生徒が着席することで、授業者が生徒の音読を終えたことを確認できるようにする。 ・各生徒がそれぞれの理解度に応じて、チャンクごとの意味を確認しながら英文を理解できるように、自分のペースで読むよう伝える。 ・着席しても読み続けるように指示することで、読み終わるのが遅い生徒も周りを気にせず自分のペースで読み進めることができるよう配慮する。 ・ペアで交互に日本語と英語を読ませることで、音読を単なる作業ではなく、意味を考えながら読むことを促す。 ・ペアで英文の音読をさせることで、相互に発音の確認を行うよう意識させる。 	それぞれの音読活動において、目的を理解したうえで主体的に取り組んでいる。 【主】

	<p>(4) Memorizing 裏面の high level ver.を用いて個人で音読を行う。</p> <p>(5) Pair Reading 裏面の high level ver.を用いて (3)と同様の音読活動を行う。なお、空欄の中身を思い出せない場合、パートナーがそれぞれ5回までなら教えることができる。</p> <p>【ライティング活動】 ◦【英語で意見交流】 (1)「譲歩」「逆接」「主張」の文章構成を学ぶ。 (2) 以下のトピックについて、プリントの例文を参考にしながら英語で意見を書く。 “Do you think more people should use drones in our life?” 「私たちの生活の中でより多くの人々がドローンを使うべきだと思いますか？」 (3) プリントの流れを参考にしながらペアで(2)について英語で意見交流を行う。なお、時間があれば、ペアを変えて同様の活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 裏面には、表面と同じ英文を載せておくが、いくつかの単語を空欄にしておく (high level ver.)。空欄をつくることで、英語の表現をアウトプットの中で自然に覚えるように促す。 ペアで双方を助け合えるような仕組みをつくることで、英文の音読が苦手な生徒も積極的に活動に取り組むことができるようにする。 「譲歩」「逆接」「主張」の文章構成を学ぶことで、論理的な流れで英文を書くよう意識させる。 プリントには、いくつか英語の表現を載せておき、生徒が論理的な構成で文章を作成するよう指導する。 プリントにコミュニケーションの流れを示しておくことで、生徒がスムーズに英語で意見交流をすることができるようにする。 	<p>「譲歩」「主張」「逆説」の流れを意識しながら、論理的な構成で英文をつくることができる。【主】</p> <p>プリントの流れを参考に、英語でコミュニケーションをとろうとしている【主】</p>
<p>まとめ 1分</p>	<p>以下の2つを次回の授業で提出 (1)発表原稿(本時で作成したもの) (2)スピーチ動画(本時の内容を Chromebook で撮影)を提出</p>		

「観点別学習状況の評価」の判断基準の設定

	「十分満足できる」状況 (A)	「おおむね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒への支援のてだて
<p>評価規準 書くこと</p>	<p>教科書やプリントの表現を活用しながら、語彙や表現が適切に使われており、文構成も適切である。</p>	<p>多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現が使われている。</p>	<p>机間指導を行い、語彙や表現が適切に使われているかどうか確認し、不十分であれば指導する。</p>
<p>話すこと (発表)</p>	<p>以下の条件を2つとも満たしている。</p>	<p>以下の条件のどちらかを満たしていない。</p>	<p>提出された動画において、以下の条件が全く満たされていない場合、生徒の状況に応じて指導する。</p>

※ 話すこと（発表）条件1：原稿を常に見ずに聴衆を意識しながら（カメラを見ながら）話している。
条件2：聴衆に分かりやすい音声で伝えており、内容が理解できる。